



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館
学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立博物館ホームページでダウンロードすることができます。

今も残る昨年の豪雨災害

山口県は6月4日頃梅雨入りしました。梅雨は私たちの生活にとって欠かすことのできな
 い水をもたらしますが、大雨によって災害が発生しやすい季節でもあります。今年も、関東地方
 や南九州では大雨による災害が起こっています。また、昨年7月28日には山口市で1時間
 あたり、143.0mmの雨が降り山口・島根豪雨災害が発生しました。今回は、現在も残る阿武川沿
 いの被害の様子と復旧作業の様子をお知らせします。



大雨によって落ちた橋
がもともと橋があったところ。



くずれたままの道



今も続く復旧作業



作業現場にいた猿



不通区間のさびたレール
 (右は列車が走っている区間のレール)



梅雨前線って何？

性質の違う空気はなかなか混ざりません。そのため、性質の違う空気が接すると境ができます。その境が地面と接するところを前線と言います。前線の近くでは雨を降らす雲が発生しやすくなります。梅雨時期には日本付近で、写真のように暖かい空気と冷たい空気がほぼ同じ力で押し合います。このようにしてできるのが梅雨前線です。やがて、暖かい空気が冷たい空気を北に押し上げ梅雨が明けます。